

定例教育委員会資料	
平成30年7月24日	
担当課	教育委員会文化財課

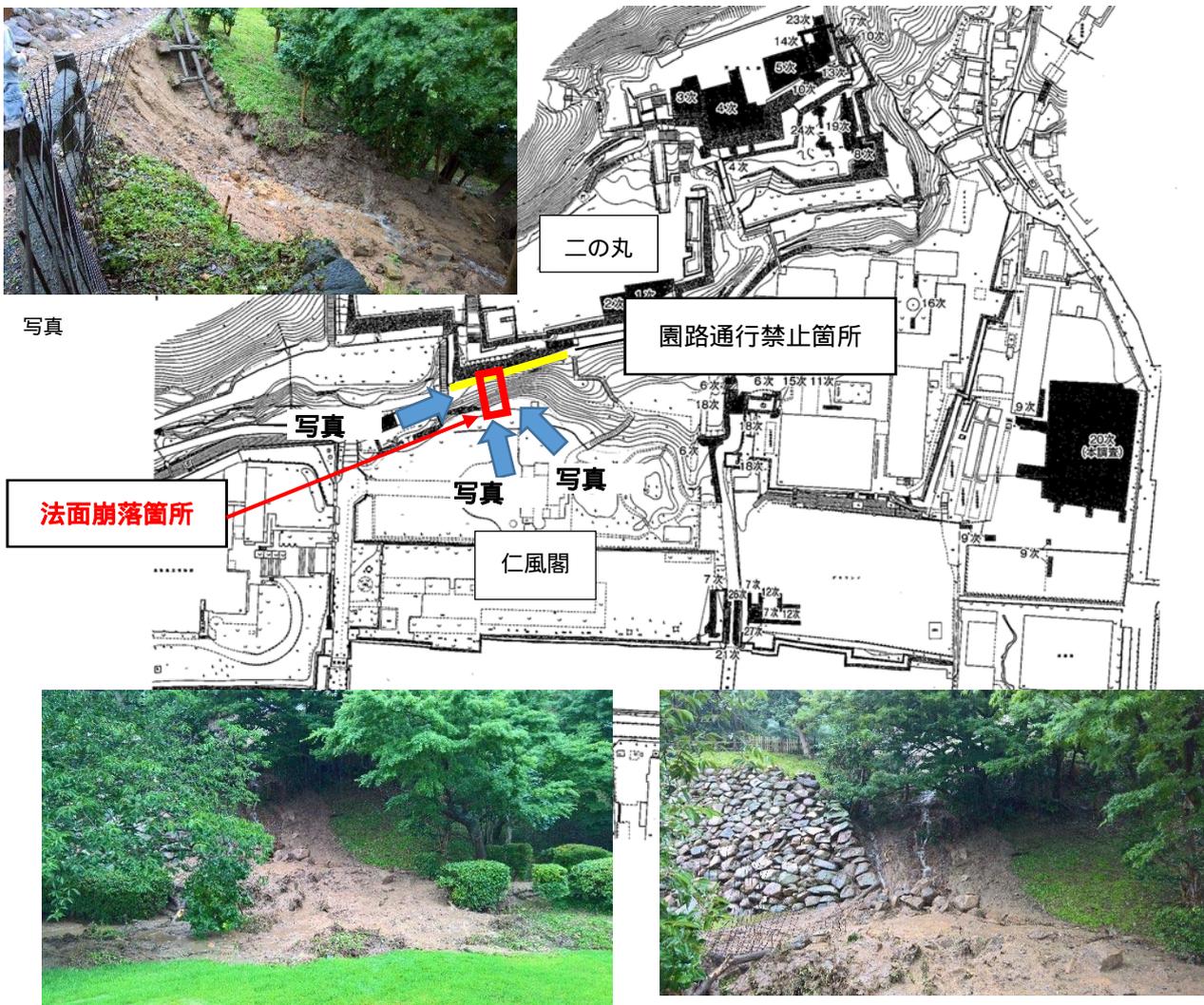
西日本豪雨による鳥取市内の主な文化財の被害について

1 史跡 鳥取城跡附太閤ヶ平

(1) 山下ノ丸

被害状況

- ・重要文化財仁風閣の敷地内にあたる、二の丸下方の法面が崩落(高さ約10m、最大幅約9m)。
- ・二の丸石垣下を通る園路の一部と手すり(擬木)が合わせて崩落。
- ・石垣及び仁風閣の外壁に被害はなかった。



写真

写真

写真

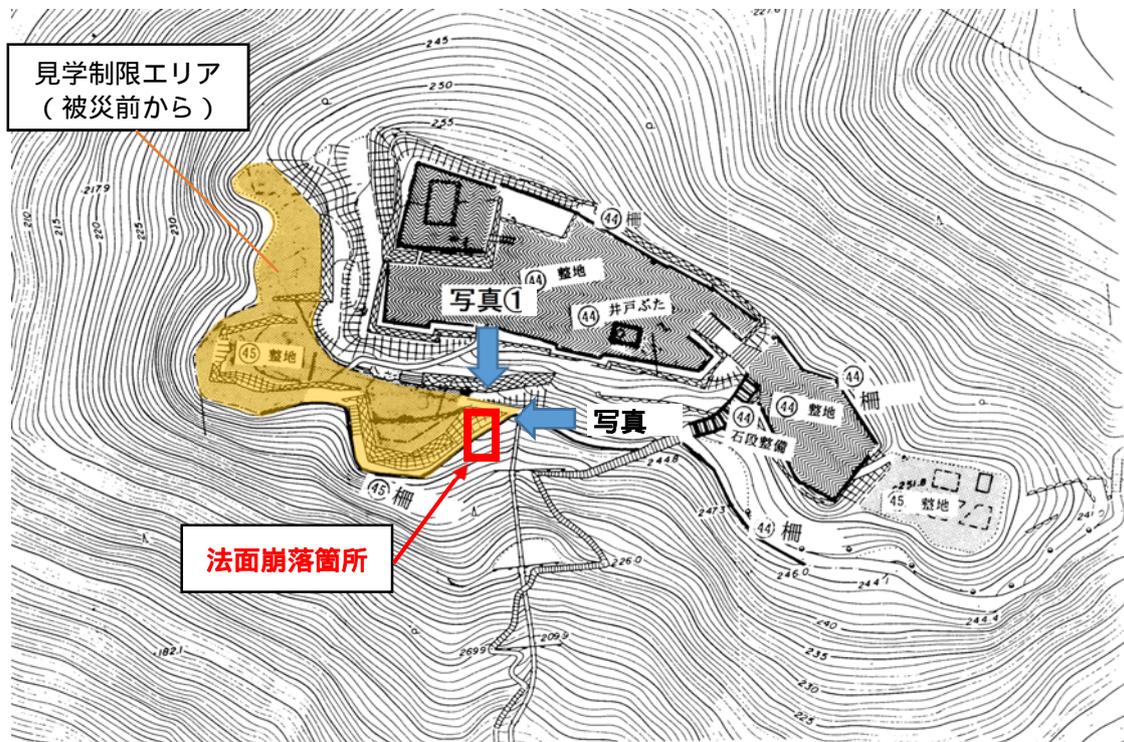
対応

- ・二の丸石垣下の園路を通行禁止とした。
- ・仁風閣の敷地内に流れ出した土砂の周辺を立ち入り禁止とした。
- ・流れ出した土砂の撤去作業を実施。現在、崩落した法面をシートで覆っている。さらなる崩落防止のため、法面裾部等に大型土嚢を設置予定。
- ・史跡のき損届を文化庁に提出予定。

(2) 山上ノ丸

被害状況

- ・本丸下方の法面が崩落（高さ約10m、最大幅約10m）。
- ・石垣に被害はなかった。
- ・崩落箇所は被災前から見学が制限（立入禁止）されていたエリアであり、見学者への影響はない。



写真



写真

対応

- ・今後、植生マット等で崩落箇所を強化する予定。

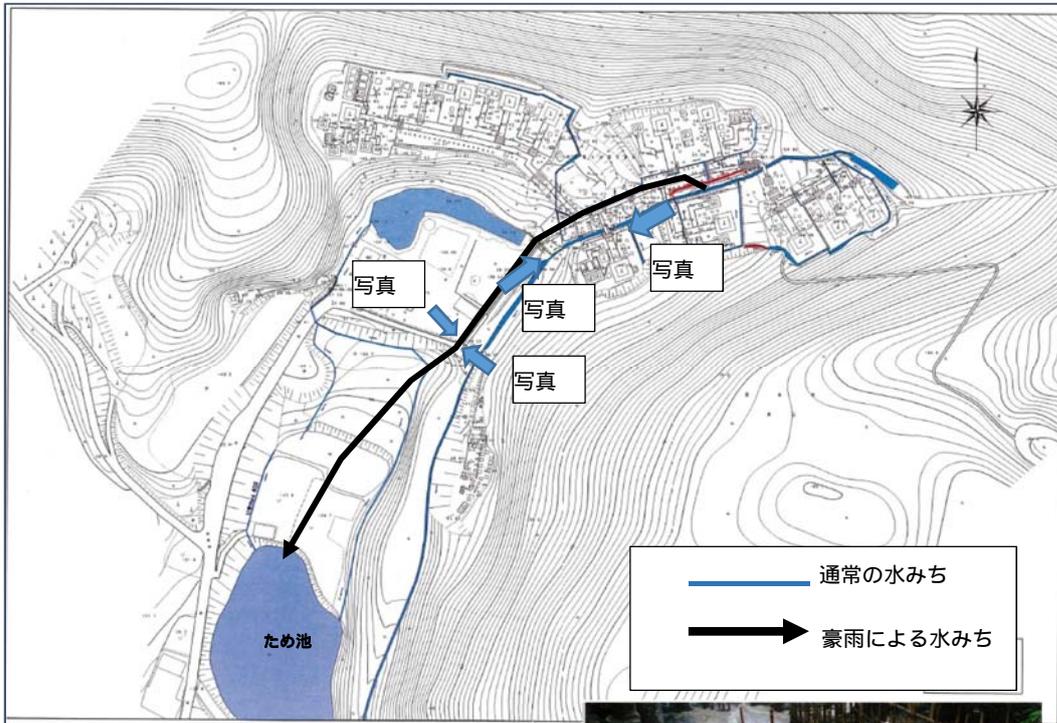
2 史跡 鳥取藩主池田家墓所

被害状況

水路が土砂で埋まり、水路から水が溢れ、参道上及び参道脇を流れ、通常は雨水が流れ込まないため池に雨水が大量に流れ込んだ。

ため池が満水に近づき、決壊と隣家への被害が懸念されたため、土嚢を積んでため池への雨水の流入を防いだことから、決壊・隣家への被害はなかった。

- ・石敷参道脇の地面が洗掘され、敷石の崩落の危険性。
- ・参道敷石の浮きや土砂の堆積が見られる。



写真



写真



写真 現況



写真

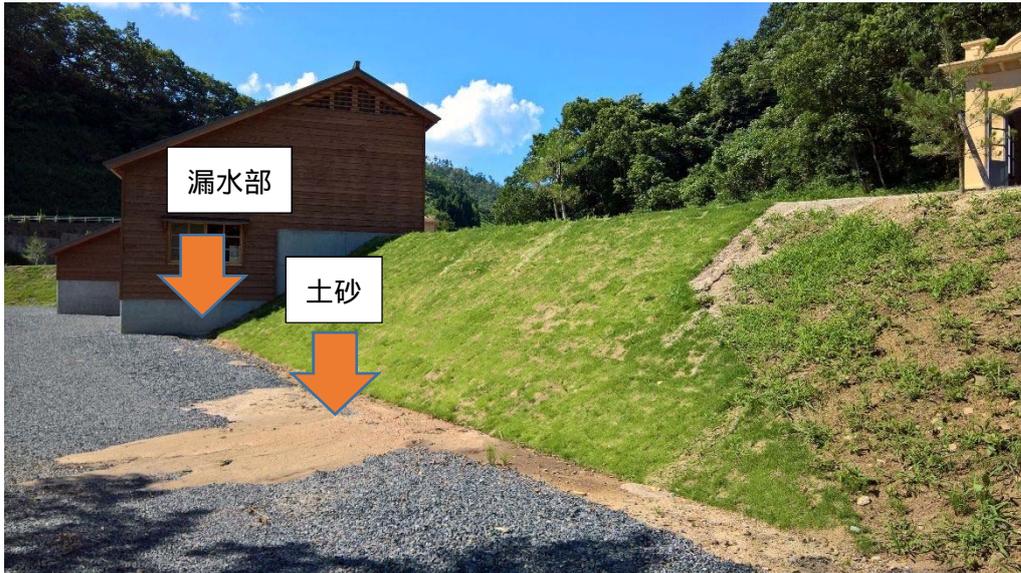
対応

- ・水路の浚渫を実施し、流れの障害物（土嚢、黒パイプ等）を撤去した。
- ・参道脇の洗掘部分の応急補修を行った。
- ・史跡のき損届を文化庁に提出予定。

3 重要文化財旧美歎水源地水道施設

被害状況

- ・整備中のガイダンス施設の排水路が目詰まりし、路盤面にオーバーフローして若干の土砂堆積・洗堀が生じた。



対応

- ・土砂を撤去し、目詰まりした排水路を復旧する。あわせて目詰まり対策を講じる。

4 登録記念物 摩尼山

被害状況

- ・仁王門上で参道側面の法面が崩壊し、倒木が参道を塞いでいるほか、石造物・石段が土砂で埋まり毀損



対応

- ・参道石段については、安全確保と通行のための応急対応(倒木・土砂の撤去)を所有者において実施